



自民党 県会報告

第179号

9月県議会 定例会

会期 9月27日(火)～
10月13日(木)

除染の着実な推進に必要な 予算など、重要議案を審議。

9月定例会は、9月27日から10月13日までの日程で開会され、平成28年度一般会計補正予算などを審議し、条例や意見書など56件を可決いたしました。

自民党議員会からは代表質問1名、一般質問4名が登壇し、復興・創生のための課題や緊急に措置すべき案件について、真摯な議論が繰り広げられました。一般会計補正予算の主な内容については以下の通りです。

平成28年度一般会計補正予算(4,118億1千4百万円)

【主な内容】

- 除染を着実に推進するための市町村への交付金(1,915億4700万円)
- 国が行う特定廃棄物の埋立処分事業に伴う影響を緩和するための地域振興策への支援(100億円)
- 原子力災害被災12市町村における新規創業等の支援(9億円)
- 原子力災害被災12市町村における営農再開の支援(8億6874万円)
- 野生鳥獣による被害を減少させるための対策強化事業の経費(2018万円)
- 広域連携による外国人観光客の誘客促進のための経費(2億5665万円)

自民党議員会が提出し可決した意見書

- 道路側溝堆積物・河川堆積土砂等の早急な処理対策を求める意見書
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた福島県における関連事業の推進を求める意見書
- 原子力損害賠償の完全実施を強く求める意見書
- 福島県産農林水産物の安全確保と風評対策に対する継続的な予算の確保を求める意見書
- 指定生乳生産者団体制度の存続と機能強化を求める意見書

代表質問(平成28年9月29日)

自民党議員会を代表して、佐藤金正議員(伊達市・伊達郡選出)が登壇し、代表質問を行いました。



Q 風評払拭及び風化防止の更なる強化が必要
A 内堀知事

昨年9月に策定した、風評・風化対策強化戦略を改訂し、対策の強化を図る。また、国内外へ福島の詳細な情報を丁寧に発信するとともに、食や観光の魅力を積極的に発信していく。

Q JR只見線の早期全線復旧に向け、どのように取り組んでいくのか
A 副知事

JRと復旧事業費等の協議を重ね、上下分離方式による鉄道復旧案とバス転換案の比較検討を行い、年内に復旧方針を決定する。

Q 平成30年以降の水田農業の振興方を早期に農家へ示すべき
A 農林水産部長

6月に県と農業団体で検討組織を設置し、市町村や農家へ聞き取りを行い、地域ごとの多様な水田農業の在り方を取りまとめて早期に示したい。

Q 医師確保の対策と地域医療体制の充実に向け、どのように取り組んでいくのか
A 保健福祉部長

県立医大の入学定員増や修学資金の拡充等、医師の確保に取り組んでおり、医大からの医師の派遣や、避難地域での医療機関の再開支援を行っている。

ふくしま復興本部 ～加速する再生ふくしま～



▲8月23日 山本公一環境大臣へ要望書を手渡す

側溝土砂撤去の国への強い要望が早期に実る!

自民党議員会は、8月8日に自民党復興加速化本部へ、また8月23日には環境省、復興庁に対して、除染対象外となっている道路側溝堆積物と河川堆積土砂等の早急な処理対策を強く要望してまいりました。

これを受けて、復興庁と環境省は9月30日に、県や市町村が行う処理作業に対して、福島再生加速化交付金を活用して財政支援する方針を正式に発表しました。

東京オリンピック競技の 県内開催実現へ!

自民党議員会は、8月23日、福島自民党支援友好団体政策フォーラムと、丸川珠代オリンピック・パラリンピック担当大臣へ、野球・ソフトボールの県内開催や事前合宿の誘致を要望してまいりました。

丸川大臣から、12月にIOCから結果が発表されるため、県内開催の実現へ向けて努力していくと説明を受けました。



丸川珠代オリンピック担当大臣へ要望書を手渡す▲

自民党議員会は今後も福島県の復興を着実に加速させるべく、
県、各省庁、党本部へ働きかけるなど、最善の努力をしてまいります。